

〈平成29年5月17日(水)〉

リサーチゼミ「私の研究と学生生活」

講師：タランギカ・ラナトゥンガさん
(岐阜大学大学院連合農学研究科 生物環境科学専攻)

岐阜大学よりタランギカさんに来ていただき、ご自身の研究と出身であるスリランカについて講演していただきました。タランギカさんは、微生物燃料電池の使用過程で排出されてしまう植物の栄養分(窒素)を保持する方法を研究されています。難しい内容ですが、初めて聞く生徒にも分かるように、非常にわかりやすく説明していただきました。講演後多くの生徒や保護者の方から積極的な質問が出ました。研究に関する鋭い質問もあり、タランギカさんも驚くとともに、喜んでくれました。以下に、講演後のアンケートを抜粋いたします。



〈講演〉

〈質疑応答〉

〈実行委員の生徒が運営〉

〈アンケートより意見抜粋〉

生徒

- ・研究職になろうという夢は、今はないけれど、何かのために研究していくことはとてもいいことだと思いました。
- ・今まで、海外へ留学することについて、あまり考えてなかったけれど、今回の講演を通して、海外へ留学することについて少し興味を持ちました。
- ・スリランカに行ったことがないので、今日知ったことなどを活かして、行ってみたいと思いました。
- ・微生物を活かして、電池を作ることや脱窒を防ぐために電池を使うという発想がなかったので驚きました。
- ・私も気になることを研究して社会に役立てたいと思った。

保護者

- ・タランギカさんの自己紹介がわかりやすく、身近に感じました。専門的な内容に興味があったので、もっと時間が良かったのではと思います。専門的な内容に関して、スリランカか英語で説明していただいて、通訳があっても面白いかと思います。
- ・子供たちが海外にも目を向けるいい機会となった。
- ・大学で何をし、何を学び研究したいか考える機会になったのではないかと。